

常任委員会の審査

各常任委員会を開き、本会議で付託された議案および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長が、30日の本会議において報告しました。

総務 常任委員会

7年度一般会計補正予算、財産の取得など議案9件について審査しました。審査の過程で、住居表示の実施による市民への影響などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。また、請願3件を審査し、いずれも不採択とすべきものと決まりました。

【議案第58号】
町の区域の新設等に伴う関係条例の整理に関する条例について

問 住居表示実施により市が管理する住民票などは自動更新となるが、ほかに住所変更により想定される影響などはあるか。

答 健康保険証などは資格の効力自体に影響はなく、変更手続きをするか、次回更新時に新住所に更新となるため問題ない。また、住所変更のお知らせのため、郵送料のかからないはがきを郵便局から1世帯あたり50枚程度交付してもらう予定である。

教育福祉 常任委員会

7年度一般会計補正予算、議決の変更など議案7件について審査しました。審査の過程で、ひとり親世帯物価高騰重点支援事業の商品券支給方法などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。また、請願2件を審査し、いずれも不採択とすべきものと決まりました。

【議案第72号】
令和7年度盛岡市一般会計補正予算（第2号）

問 ひとり親世帯物価高騰重点支援事業において商品券の支給にMORIOペイを利用する理由と、支給までのスケジュールは。

答 期間を定め電子商品券として支給することで、ひとり親家庭の支援と市内店舗での消費の活性化につながることを期待している。7月末に案内し8月から申請を受け付け、申請後早ければ即日、遅くとも1週間以内に申請者のアプリに支給額相当分をチャージする。

産業環境 常任委員会

7年度一般会計補正予算など議案2件について審査しました。審査の過程で、工業用LPガス料金支援金支給事業に係る申請見込み事業者数を7者とする理由などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。また、請願1件を審査し、不採択とすべきものと決しました。

【議案第72号】
令和7年度盛岡市一般会計補正予算（第2号）

問 令和5年に初めて工業用LPガス料金支援金支給事業を実施したときは、約40者を対象としていたが、LPガスの価格高騰が続く中、今回の申請見込み数を7者とした理由は。

答 令和5年は食品製造業者や金属製造業者などの申請を想定して40者としたが、実際の申請は8者であった。その後の聞き取りで、1者が製造を取りやめたことから7者とした。

建設 常任委員会

7年度一般会計補正予算、財産の取得など議案5件について審査しました。審査の過程で、厨川四丁目歩行者専用道534-1号橋の橋梁補修工事に係る施行協定の締結についての財源や市橋梁長寿命化修繕計画などについて質疑がありましたが、いずれも可決すべきものと決まりました。

【議案第65号】
厨川四丁目歩行者専用道534-1号橋の橋梁補修工事に係る施行協定の締結について

問 今回の橋りょう補修工事の財源と4年9月策定の市橋梁長寿命化修繕計画の状況は。

答 補修費用約2億円のうち国の補助率が55%であり、残り45%が市の負担である。修繕計画は必要な時期に改定しており、5年に一度の定期点検を踏まえ7年4月に改定した。今後50年間を見据え、市内の575橋の中で、緊急対応が必要な橋や通行止めとなる橋がないよう10年間の年次計画を定めた。

議会活動レポート

産業環境常任委員会が調査を実施

5月9日に盛岡市商店街連合会会長の石田和徳氏をはじめとする役員と「商店街に係る現状等について」をテーマに意見交換を行い、市内の各商店街の現状と課題について説明を受けました。参加した役員からは、今後も商店街を維持していくためにも公共交通の維持が重要であるとの意見や、ウォークアブルなまちとしていくために、歩道の補修整備が必要であるなどの意見があったほか、委員からは各商店街で行っている独自の取り組みなどについて質問があり、商店街の現状について理解を深めました。



市内商店街の現状を調査

ハラスメント研修を実施

市議会では、7年3月26日の本会議において、「盛岡市議会のハラスメント防止に関する決議」を全会一致で可決しました。決議では「議長は、ハラスメントの発生防止のため、議員に対し継続的に研修を実施し、議員はその受講によりハラスメントに関する知識や予防意識の向上を図る。」ことを定めており、その一環として、5月29日に弁護士法人幹盛岡さくら法律事務所弁護士の渡部容子氏を講師に迎え、研修を行いました。研修では、さまざまなハラスメントの概要や、議員特有のハラスメント被害・加害について学んだほか、ハラスメント防止に必要な視点について見識を深めました。



ハラスメントの事例などを学ぶ

農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会が調査を実施

農林畜産業の活性化と諸問題について解決を図り、本市における農林畜産業の発展に寄与することを目的に市議会議員で組織している、農林畜産業を守る盛岡市議会議員懇談会が、5月13日に勉強会を開催しました。一般社団法人家畜改良事業団盛岡種雄牛センター場長の桑原孝博氏から盛岡種雄牛センターの取り組みについて、有限会社二和木材代表取締役の小笠原清貴氏から岩手における林業の在り方、地域資源の活用について、それぞれ説明を受け、畜産業と林業の現状について見識を深めました。



畜産業と林業の取り組みを調査

緊急事態発生時避難訓練を実施

市議会では、6月30日の本会議終了後、本会議開会中に大地震などの緊急事態が発生した場合における傍聴者、議員および職員の避難の手順などを確認することを目的に、緊急事態発生時避難訓練を実施しました。訓練では、座席に配備しているヘルメットと軍手を着用し、議会事務局職員の誘導により庁舎の外に避難し、点呼を行って全員の避難を確認しました。訓練後の中村盛岡中央消防署長からの講評では、自分の座席に配備しているヘルメットのあご紐を事前に自分のサイズに調整しておくことなどのアドバイスを受けました。



緊急事態における避難方法を確認

特別委員会の調査報告

5年10月に設置した4つの特別委員会は、6月30日の本会議で2年間の調査活動結果を報告し、市に対し提言を行いました。調査報告書の全文は、市議会ホームページに掲載しています。

子ども・子育て特別委員会

調査項目

- ①子育て支援
- ②子どもの貧困対策
- ③子どもの多様な学びの場づくり

調査実績

- ・大阪市：習い事・塾代助成事業
- ・兵庫県明石市：離婚等の子ども養育支援
- ・山形市：南部児童遊戯施設シェルターインクルーシブプレイスコパル
- ・愛知県刈谷市：中高生の居場所づくり事業「なごみんはあと」
- ・東京都武蔵野市：子どもの権利条例

など計8回実施。

提言

- ・雨天時も遊ぶことができ、車いすでも利用できる盛岡市版インクルーシブプレイスコパルの整備
- ・子どもの権利条例の制定
- ・所得制限付きの学習・体験活動助成制度の創設
- ・養育費立替支援事業および養育費差し押さえサポート事業の実施
- ・中学生、高校生が放課後に自由に立ち寄り、仲間と交流しながら過ごせる学びの場の創設および複数箇所の設置検討
- ・フリースクール民間施設運営費補助制度およびフリースクール利用料補助金を導入し学校以外でも尊厳を持って成長できる環境づくりの推進



屋内遊戯施設の状況を調査

公共交通対策特別委員会

調査項目

- ①既存公共交通
- ②新たな交通システム

調査実績

- ・青森県八戸市：八戸圏域地域公共交通活性化協議会
- ・静岡市：しずおかMaaSの取り組み
- ・静岡県掛川市：掛川市地域公共交通計画に係る取り組み
- ・岐阜市：自動運転バスの実証実験
- ・紫波町：デマンド交通サービス「しわまる号」

など計7回実施。

提言

- ・公共交通の利便性拡大のための支援策の実施と、赤字路線を運行する交通事業者に対する赤字補填の実施
- ・盛岡駅東口バスロータリーや、市内のタクシー乗り場の利便性の向上、安全対策の実施
- ・公共交通機関を一括で検索、予約、決済ができるMaaSシステムの構築
- ・交通空白地域への公共ライドシェアの導入支援
- ・AIオンデマンド交通導入に向けたサウンディング調査の実施
- ・地域との協働による自動運転バスの導入に向けた継続的な支援



自動運転バス実証実験を調査

農商工連携特別委員会

調査項目

- ①地場産業活性化
- ②新産業創出と企業誘致
- ③人材育成・確保

調査実績

- ・富山市：創業支援・新産業育成
- ・静岡市：地場産業支援
- ・滋賀県：しがプロインターン
- ・ヘルステック・イノベーション・ハブ（HIH）：HIHの取り組み
- ・岩手大学：地域協創教育機能の強化

など計12回実施。

提言

- ・異業種交流の機会創出やマッチング支援
- ・地場産業の課題解決につながる新製品・サービス開発を促す経済的支援
- ・起業・創業の相談にワンストップで応じる支援拠点施設の整備
- ・支援拠点施設の連携による創業支援イベント継続など、イノベーション創出の場づくり
- ・地域で必要とされる人材、地域企業の求める人材像の明確化と、高等教育機関と連携した人材育成プログラムの実施
- ・人材育成・確保の施策を推進する新組織を市役所内に設置



ヘルステック関連産業拠点を視察

環境保全対策特別委員会

調査項目

- ①ゼロカーボンシティの実現
- ②自然環境の保全

調査実績

- ・浜松市：エネルギー政策
- ・愛知県豊田市：とよたエコフルタウン
- ・宮古市：宮古市版シュタットバルケ
- ・石川県小松市：クマ対策
- ・市動物園ZOOMO：シリアスボードゲームを用いた普及啓発

など計7回実施。

提言

- ・脱炭素型まちづくりの実現のため、大学などの多様な主体を加えた推進体制の主導、構築
- ・盛岡市版シュタットバルケの導入検討
- ・盛岡広域圏における焼却ごみのさらなる減量
- ・針広混交林の整備拡大に向けた積極的施策
- ・電気柵設置費等補助金の拡充
- ・野生鳥獣の侵入防止策として監視カメラなどのICT技術の活用
- ・市動物園ZOOMOの環境教育拠点としての機能強化およびシリアスボードゲームを活用した市民への意識啓発の推進



シリアスボードゲームを体験